

給食だより

流山市立西初石小学校 令和5年1月

～1月24日は給食記念日、

24日から30日は全国学校給食週間です。～

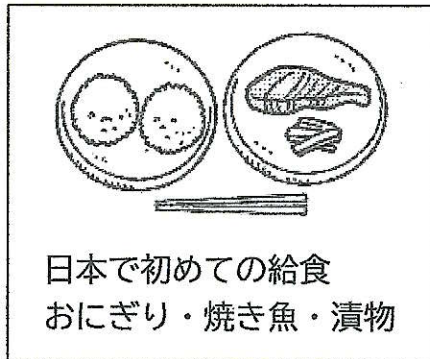
私たちの給食はどうして始まったのでしょうか。考えてみましょう。

給食の歴史

明治22年

山形県鶴岡町（今の鶴岡市）私立忠愛小学校で給食は始まりました。その頃は、今のように食糧が豊富になく、貧しくて食べられない子どもたちのために始まりました。

でも、その後戦争が始まり給食は一時中止されました。



昭和21年

戦争は終わりましたが、食糧難で食べる物がない子どもたちのために（12月24日）東京・神奈川・千葉で試験的に給食が始まりました。

この日を記念して（12月24日は冬休みに入ってしまうため一か月後の）1月24日を給食記念日。それからの一週間を「全国学校給食週間」と制定しました。

子どもたちを想う色々な人たちの気持ちで再開された給食だったのです。

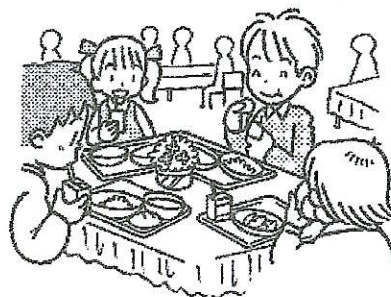
昭和22年

全国都市の児童約300万人にアメリカの民間団体の援助によりミルク給食（脱脂粉乳）などの給食が実施されました。

昭和27年

4月、完全給食が全国すべての小学校を対象に実施されるようになりました。

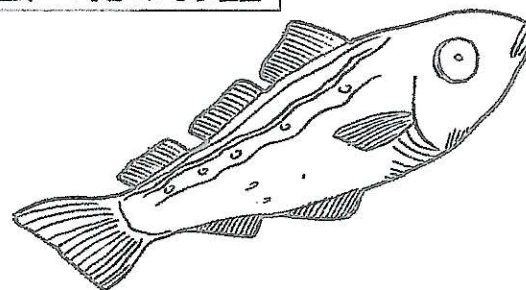
現在



和食・中華・洋食とメニューも豊富になり、食べるだけの給食ではなく、マナー、栄養のバランスがとれた食事、食品の種類や栄養素の働き、旬の食材、行事食や日本に昔から伝わる郷土料理などを学ぶことができる食育のための給食に変わってきました。

今では、何不自由なく給食は食べられますが、日本のように恵まれた国は多くはありません。今でも戦争の中で、飢餓に苦しむ子どもたちもいるのです。大切に食べる事を改めて考えてみる給食週間にしたいですね。

食べ物のお話



たら

たらには「まだら」「すけとうだら」などの種類があり、12～2月ごろおいしくなります。

たらちり、ムニエルなどにして食べるほか、すり身にして、かまぼこやちくわを作ります。